

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスひかり		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 19日 ~ R8年 1月 9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数) 53
○従業者評価実施期間	R7年 1月 28日 ~ R7年 1月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 30日		

○分

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して通うことができ、楽しんで過ごすことができている。	職員一人ひとりが日々の療育で子どもを楽しませるという意識を持っており、子どもの活動に対し肯定的に関わっている。 また季節のイベントや新しいおもちゃの購入など子どもが喜ぶようなことを活動に取り入れている。 個別担当制や構造化された環境を整備している。	引き続き、職員一人ひとりが自覚を持って行動するために定期的な研修を実施していく。
2	子どもや保護者のニーズを把握し分析した上で、一人ひとりに合わせた支援計画を作成し、支援内容に活かすことができている。	保護者面談でよりよい情報を得るために、フォーマットを作成し、全職員が今後の支援に必要な情報を聴取できるよう統一している。また聴取後、1か月以内には全職員参加型のケース会議を実施し、日頃の療育内容の共有や計画内容について検討をしている。	ケース会議のあり方なども適宜検討していく。
3	保護者と子どもについての情報を共有できている。	職員が保護者と情報を共有することの重要性を理解し、保護者との定期的な面談や日々の療育の報告を行い、直接お会いできない保護者にはメール等を通して月に1回は報告ができている。	動画や写真などで分かりやすく説明をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時対応マニュアルや感染症対応マニュアルの策定及び、保護者への周知が不十分。 定期的な避難訓練や研修は行われているが、保護者へ周知が行き届いていない。	安心して利用していただくために保護者への周知が必要であるが、職員の認識が不足していた。	マニュアルの策定時や避難訓練などにおいては実施後、すみやかに保護者に連絡するよう取り組んでいく。
2	放課後児童クラブとの交流や地域との交流、保護者同士の繋がりを作る取り組みが不十分。	繋がりを作るという職員の視点の不十分さ	地域に開かれた講演会を実施し、懇親会などで交流を深める機会を設けていく。
3	事業所での活動内容や自己評価の結果について保護者に周知がされていない。	ホームページには掲載しているが、そのあと更新したことを保護者に伝えられておらず、周知ができていない。	ホームページの更新時には都度、保護者へ連絡を行う。